

## 今週の株式相場見通し

\* 日経平均 20,800~22,000円 TOPIX 1,570~1,660  
 \* 期待材料 中国の内需拡大策 日中関係改善 企業統治改革 国内安定政権  
 \* 不安材料 企業業績鈍化懸念 米中関係の冷戦化 米露の中距離核戦力廃棄条約破棄 イタリア予算案問題 サウジ情勢 イランへの経済制裁復活第二弾 米中間選挙 米国金利情勢

今週から3月期決算企業の2Q決算発表が本格化する。3月期決算で9月末と10月24日時点の通期業績予想が比較可能な企業は2,206社あり、この間で通期の純利益予想を修正した企業は49社あった。内訳は上方修正が21社、下方修正が28社、修正額の合計は911億円の下方修正となり、決算発表本格化を控えて、今後の発表内容への警戒感が高まっている。加えて、上記不安材料欄記載の通り、主に海外情勢について懸念材料が多い。11月4日にはイランへの制裁猶予期間が終了する。また、サウジ人記者ジャマル・カショギ氏殺害事件を受けて、サウジアラビアへの制裁も懸念材料となっており、イラン問題と合わせて原油価格の先行き不透明感を高めている。6日には米国で中間選挙が行われるが、トランプ米政権の大きなアピール材料であった株価が変調をきたしており、共和党候補には向かい風となる可能性がある。イタリアはEUの欧州委員会に拒否された予算案を11月中旬までに再提出する必要がある。米露間では、11月11日にフランスで開催される第一次世界大戦終結100年記念行事に合わせて、また、米中間でも11月30日からアルゼンチンで開催されるG20首脳会議期間中に、それぞれ首脳会談が開催される方向で調整中。ただ、現時点では、これら首脳会談を通じて急速に関係が好転する可能性は低いものと思われる。株式市場においては、これら懸念材料が引き続き意識されるだろうが、株価下落が急なことから、短期的にはテクニカルリバウンドも期待される局面と思われる。(10月25日現在、多功 毅)

## 今週の予定

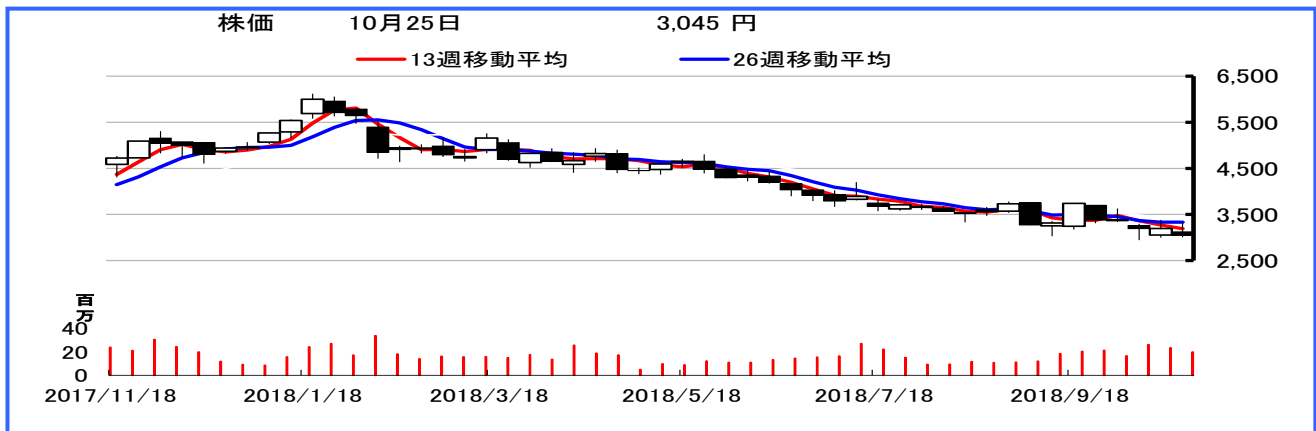
	国内	海外
10/29 (月)	コマツ(6301)2Q決算(15:00) ファナック(6954)2Q決算(15:00)	[米]9月PCEコア(21:30) [米]EMS WORLD EXPO 2018(~11/2)
30(火)	9月失業率(8:30) 日銀金融政策決定会合(~31日) ソニー(6758)2Q決算(15:00) 任天堂(7974)2Q決算(16:00)	[韓]韓国人元徴用工訴訟 最高裁判決 [米]アップル製品発表会 [欧]7-9月期GDP(19:00) [米]10月消費者信頼感指数(23:00)
31(水)	9月鉱工業生産(8:50) 9月住宅着工戸数(14:00) 村田製作所(6981)2Q決算(15:00) 東京エレクトロ(8035)2Q決算(15:00)	[中]10月製造業PMI(10:00) [中]10月非製造業PMI(10:00) [欧]10月消費者物価指数(19:00) [米]10月ADP雇用統計(21:15)
11/1 (木)	JIMTOF2018(~6日) 浜松ホト フォトンフェア(~3日) 10月の新車販売台数	[中]1585品目の輸入関税率引き下げ [中]10月財新製造業PMI(10:45) [米]10月ISM製造業景況指数(23:00)
2(金)	伊藤忠(8001)2Q決算(13:00) 三菱商事(8058)2Q決算(13:00)	[米]9月貿易収支(21:30) [米]10月雇用統計(21:30)
3(土)	文化の日	[英]National Pet Show(~11/4)
4(日)	全日本大学駅伝対校選手権 神戸空港 空の日イベント	[米]対イラン経済制裁猶予期間終了第2弾 [仏]ニューカレドニア 独立の是非を問う住民投票

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 今週の参考銘柄

### 安川電機 (6506) 東証1部



	17年3月期 (百万円) 前年比	18年2月期 (百万円) 前年比	19年2月期(予) (百万円) 前年比	株価(10/25)	3,045 円
売上高	394,883 -4.0%	448,523 —	498,000 —	業種	電気機器
営業利益	30,409 -17.2%	54,126 —	59,000 —	売買単位	100 株
経常利益	31,963 -10.8%	55,300 —	60,000 —	PER(予想)	17.1 倍
当期純利益	20,397 -8.8%	39,749 —	47,000 —	PBR(実績)	3.3 倍
EPS(円)	77	149.4	177.8	ROE(実績)	20.0 %
配当金(円)	20.0	40.0	52.0	配当利回り(予想)	1.7 %
				担当	松本 直志

決算期変更のため18年2月期と19年2月期(予)の前年比は記載していない。出所：業績に関する数値は決算短信、決算説明会資料より

ロボット、工作機械、半導体製造装置など様々な装置に搭載され、動きを精密に制御するACサーボモータ、モータの回転数を制御し省エネを実現するインバータなどを扱うモーションコントロール事業、自動車向け溶接、塗装、搬送ロボットや半導体製造装置用ロボット、FPD搬送用ロボットなどの産業用ロボット事業、鉄鋼プラント用電機システムなどのシステムエンジニアリング事業を行っている。17年度決算での売上構成比率は、モーションコントロール事業が46.3%、ロボット事業が35.9%、システムエンジニアリング事業が13.2%、その他が4.5%になっている。

中国スマートフォン関連の需要一服に加え半導体関連の設備投資も弱含み、ACサーボモータ、ロボットの売上が減速し、上期計画に対して売上で103億円、営業利益で28億円未達。通期計画は売上で120億円、営業利益は65億円下方修正。特に2Q(6-8月期)の受注の落ち込みが顕著で、全社受注は1Q比10%減、モーションコントロール事業の受注が1Q比19%減と足を引っ張った。米中貿易摩擦の影響で設備投資が様子見となり、生産自動化需要が後ろ倒しになった。ロボットの受注は1Q比4%減となり、自動車関連向け中心に需要が堅調で落ち込みは限定的だった。仕向先別では中国の受注が1Q比24%減と大きく落ち込み、アジアが18%減、米州が12%減となった。ただ、前年同期比では2Q受注は4%減にとどまっており、高水準での推移が継続している。競争力向上のため自動化投資は必須であり、5G、IoT、自動運転、データセンタなど向け需要も来年に向けて動きだすことが見込まれ、ACサーボモータの停滞は一時的なものにとどまろう。ロボットも中国などでの人件費上昇によるコスト増抑制のため、需要は底堅く推移することが見込まれる。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきます。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(10/25) 売買単位	コメント
<b>PR TIMES</b> (3922) 東証1部 2,177円 100株	上期決算は前年同期比 32.2%増収、32.6%営業増益。6 四半期連続で過去最高売上を更新し、会社計画も上振れ。通期計画への進捗率も順調。2Q はユーザー満足度改善のためのマーケティング投資が集中したことで、前年同期比 2.7%営業減益になったが、PR TIMES の利用企業数は前年同期比 31.7%増の 24,833 社へ拡大し、上場企業の 33.1%が利用。プレスリリースの配信件数は前年同期比 30.8%増の 31,736 件となり、2 四半期連続で過去最高を更新した。(松本 直志)
<b>ベクトル</b> (6058) 東証1部 1,944円 100株	上期決算は前年同期比 45.0%増収、11.8%営業増益。売上は計画超過もネットメディアの広告収入が検索エンジンの表示順位変更で想定を下回り、営業利益は計画未達。広告収入は回復基調にあり、本業の PR 事業も好調のため通期計画は変更せず。ネット時代に対応した PR サービスをワンストップで提供できることを強みに、PR 事業は前年同期比 27.1%増収、15.2%営業増益と順調に拡大。人員を増強したビデオリリース配信事業は前年同期比 92.2%増収、営業利益は 3.2 倍と急拡大。PR TIMES、ビタブリットジャパンの成長も継続。(松本 直志)
<b>竹内製作所</b> (6432) 東証1部 2,217円 100株	2Q 累計決算は、主力の欧米市場において住宅市場が堅調に推移し、またインフラ投資も改修、新規投資が順調に推移するなか、北米での新型クローラーローダー、欧州での新型ミニショベル投入効果も貢献することで 14.3%増収。原材料や運送コスト上昇の影響を増収効果で吸収し 11.1%営業増益で着地。通期について増額修正をしているが、期初時点でも想定したように原材料及び運送コスト上昇を見込むことで 12.4%増収、2.4%営業減益計画。(多功 毅)
<b>日本電産</b> (6594) 東証1部 13,600円 100株	ニアライン向け HDD 用モータやファンモータが好調に推移する精密小型モータに加えて、電動化ニーズを捉える車載、省エネ対応モータが好調な家電・商業・産業用も順調に収益を拡大。2Q 累計決算は、1Q 決算発表時の上方修正後計画を上回る前年同期比 8.6%増収、20.1%営業増益での着地。通期についてはドル 100 円、ユーロ 125 円を前提に 7.5%増収、16.9%営業増益計画を据え置いているが、利益面では超過達成が期待される。(多功 毅)
<b>and factory</b> (7035) 東証マザーズ 4,740円 100株	18年8月期決算は前年同期比 178.3%増収、63.2%営業増益。自社で開発した&AND HOSTEL を 1 件売却したことや漫画アプリの拡大により大幅増収増益。漫画アプリはスクエアと「マンガ UP!」、白泉社と「マンガ Park」を運営しており、MAU は 8 月単月で 255 万人突破、ARPU もマンガの本数拡大で増加基調。集英社とビーグリーとも新規アプリを開発中。今期は前年同期比 60.2%増収、40.0%営業増益計画。上期に投資を行い下期に回収する方針で下期偏重になる見込み。(松本 直志)
<b>マニー</b> (7730) 東証1部 4,980円 100株	前期決算は市場拡大に加えて、新工場稼働による生産制約が解消したアイレス針、品揃え拡充や中国の営業体制強化が寄与するサージカルが好調に推移し、前年同期比 17.1%増収、19.2%営業増益での着地。今期は、収益性の低い欧州子会社を売却した影響で 6.8%減収となる見込みだが、アイレス針、サージカル、売却事業を除くデンタルの増収効果及び新工場の一段の生産改善効果により 12.8%営業増益を計画。(多功 毅)

## いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

### ■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



### ○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号

加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大 1.1772%(ただし約定代金 230,000円以下の場合は最大 2,700円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

### ○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室